SONY®

4-169-963-**03**(1)

準備する

再生する

設定を変更する

その他

ポータブル CD/DVD プレーヤー

DVP-FX950

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

4 ～ 6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。30 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、AC アダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使っていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、AC アダプターや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



→

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックをはずす**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

目次

安全のために 2
各部のなまえ 7
液晶画面を回転して折り重ねる 10

準備する

付属品を確認する 11
充電する 11
カーアダプターを使う 13
テレビなどにつなぐ 14

再生する

ディスクを再生する 15
MP3/JPEG ファイルを再生する 18
画面サイズや画質を調整する（画面モード）. 20

設定を変更する

本機の設定を変更する 21

その他

故障かな？と思ったら 25
再生できるディスク一覧 28
使用上のご注意 30
主な仕様 32
保証書とアフターサービス 33
索引 34

本書の読みかた

- 指定されている場合を除き、CD、DVD を総称して「ディスク」と表現しています。
- 機能の説明をわかりやすくするため、**DVD** のような記号を使っています。詳しくは、「再生できるディスク一覧」（28 ページ）をご覧ください。
- 間違った使い方をしないために知っておくべき情報は 、知っていると役に立つ情報は で表現しています。

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により死亡や大けがの
原因となります。

運転中は使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンを使用したり、ディスクを再生したり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。また、運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

禁止



分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目に当たると危険です。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

本機や AC アダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機や AC アダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

付属以外の AC アダプターやカーアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。

禁止

本体や AC アダプター、カーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグやバッテリーパックにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中、本体やバッテリーパック、AC アダプター、カーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

禁止

液晶画面を長時間つづけて見ない

液晶画面を長時間続けて見ると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。

➡ 万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に置く

液晶画面の開閉時やディスクぶたを閉じるときなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

回転しているディスクにはさわらない

ディスクぶたを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜いてバッテリーパックをはずす

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜いてバッテリーパックをはずす

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けがや失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

バッテリーパックやリモコン用電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

指示

- ➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

バッテリーパックは本機以外で充電しない、リモコン用電池は充電しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

火の中に入れない、加熱・分解・改造しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠警告

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

リモコン用電池は乳幼児の手の届かない場所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

禁止

- ➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

バッテリーパックは踏みつけたり、落下させたりして、外装を傷つけない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外のバッテリーパックやリモコン用電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

使い切ったときや、長時間使用しないときは、バッテリーパックやリモコン用電池を取りはずす

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコン用電池は＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

指示

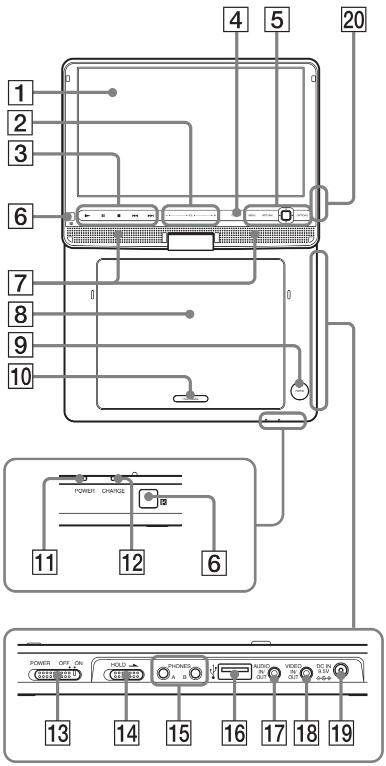
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

Li-ion

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体



2 3 4 5（←/↑/↓/→、センターボタン（決定）を除く）は、触れるだけで操作できます。

VOL（音量）+ と ►(再生) には、凸（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

1 液晶画面（10 ページ）

2 VOL（音量）+/–
+/– で音量を調節します。

本体の +/– は触れるだけで操作できます。また、こするように指を動かして操作することもできます。中心から + 方向へ動かすと音量は上がり、中心から – 方向へ動かすと音量は下がります。
「画面モード」を選択している時は、画質を調整できます（20 ページ）。

3 ►（再生）（15 ページ）
再生します。

❚❚（一時停止）（15 ページ）
一時停止または再生を再開します。

■（停止）（15 ページ）
再生を停止します。

◄◄（前）
再生中のチャプターやトラック、場面の初めに戻ります。
2 回押すと、前のチャプターやトラック、場面の初めに戻ります。

►►❚（次）
次のチャプターやトラック、場面に進みます。

4 DISPLAY（ディスプレイ）
- DVD のとき：再生情報画面を表示します。この画面から再生の設定を変更できます（17 ページ）。
- CD/ ビデオ CD のとき：再生情報を表示します。（CD のみ、ボタンを押すたびに時間表示が切り換わります。）

➡ 次のページへつづく

5 MENU（メニュー）
- DVD ビデオのとき：メニューを表示します。
- CD/ ビデオ CD のとき：ボタンを押すたびに、リピート再生、ランダム再生、再生に切り換わります。（ビデオ CD は「PBC」を「切」に設定しているときのみです。）
- JPEG ファイルのとき：サムネイル一覧の表示やスライドショーの再生ができます（18 ページ）。

RETURN（戻る）
前の表示にもどります。

←/↑/↓/→
表示されている項目を選びます。
- DVD/CD/ ビデオ CD のとき：本体の ←/→ は、リモコンの ◀◀/▶▶ と同じように使えます。

センターボタン（決定）
選んだ項目を決定します。
- DVD/CD/ ビデオ CD のとき：本体のセンターボタン（決定）は、▶（再生）と同じように使えます。

OPTIONS（オプション）
画質などの調整（20 ページ）や、メニューからの設定変更ができます（21 ページ）。

6 Ⓡ（リモコン受光部）
リモコンを使うとき、リモコンをリモコン受光部 Ⓡ に向けて操作します。

7 スピーカー

8 ディスクぶた（15 ページ）

9 OPEN（開く）ボタン（15 ページ）
ディスクぶたが開きます。

10 PUSH CLOSE（15 ページ）
ディスクぶたを閉じます。

11 POWER（電源）ランプ（15 ページ）

12 CHARGE（充電）ランプ（12 ページ）

13 POWER（電源）スイッチ（15 ページ）

14 HOLD（ホールド）スイッチ
矢印の方向へ設定すると、本体のボタン操作を無効にすることができます。リモコンでの操作はできます。

15 PHONES（ヘッドホン）端子 A、B

16 USB 端子（19 ページ）

17 AUDIO IN/OUT（音声入出力）端子（14 ページ）

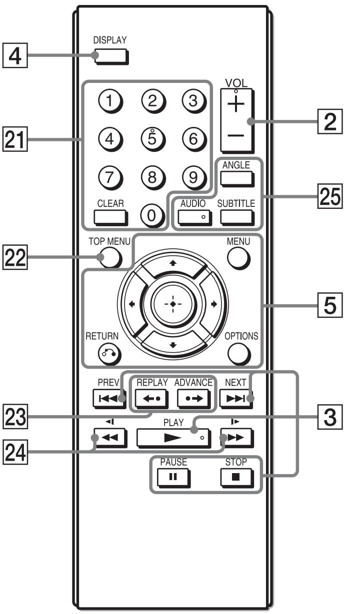
18 VIDEO IN/OUT（映像入出力）端子（14 ページ）

19 DC IN 9.5V 端子（12、13 ページ）
AC アダプターやカーアダプターをつなぎます。

20 INPUT SELECT（入力切換）ボタン（14、19 ページ）
ボタンを押すたびに液晶画面が次のように切り換わります。
- ディスクモード（初期設定）：ディスクを再生します。

- USB モード：つないでいる USB 機器内のデータファイルを再生します。このモードを選ぶと、液晶画面に「USB」と表示されます。
- Line In モード：つないでいる他機から再生信号を入力します。このモードを選ぶと、液晶画面に「Line In」と表示されます。

リモコン



VOL（音量）+、数字ボタンの「5」、►（再生）、AUDIO（音声）ボタンには、凸（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

21 数字ボタン

タイトルやチャプターなどの番号を入力します。

- DVD ビデオ /CD/ ビデオ CD のとき：タイトルやチャプター、トラックの番号を入力し、センターボタン（決定）を押してダイレクトサーチができます。（ビデオ CD は「PBC」を「切」に設定しているときのみです。）
  DVD のタイトルとチャプターを切り換えるには、←/→ を押します。

CLEAR（クリア）ボタン

入力内容を消去します。

22 TOP MENU（トップメニュー）ボタン

- DVD ビデオのとき：トップメニューを表示します。
- DVD（VR モード）のとき：プレイリストがあるディスクでは、「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えます。再生中は、切り換えることはできません。■（停止）を 2 回押して、TOP MENU（トップメニュー）ボタンを押してください。

23 ←•REPLAY（リプレイ）/ •→ADVANCE（アドバンス）ボタン

少し前に戻ります / 少し先に進みます（DVD のみ）。

24 ◄I◄◄/►►I►（スキャン/スロー）ボタン

再生中に押すと、早送り / 早戻しします。くり返し押すと、早さが変わります。
一時停止中に押すと、スロー再生 / スロー戻しします。くり返し押すと、早さが変わります（スロー再生は DVD/ビデオ CD のみ、スロー戻しは DVD のみ）。

→ 次のページへつづく

㉕ ANGLE（アングル）ボタン

アングルを変更します。アングルを変えられるときは、「 」が表示されます。ディスクによってアングルを切り換えることができない場合があります（DVD ビデオのみ）。

AUDIO（音声）ボタン

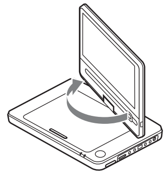
音声を変更します。
- DVD ビデオのとき：ボタンを押すたびに、音声が切り換わります。ディスクによって、選べる言語は異なります。
- DVD（VR モード）のとき：ボタンを押すたびに、録音された音声トラックが主音声、副音声、主音声＋副音声に切り換わります。
- CD/ ビデオ CD のとき：ボタンを押すたびに、ステレオとモノラル（左 / 右）に切り換わります。

SUBTITLE（字幕）ボタン

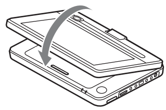
字幕を変更します。ボタンを押すたびに、字幕が切り換わります。ディスクによって、選べる言語は異なります（DVD のみ）。

液晶画面を回転して折り重ねる

液晶画面を垂直の位置になるまで開き、ゆっくりと矢印の方向（時計回り）に 180 度回転します。



液晶画面を時計回りに 180 度回転した後で、本体の上に液晶画面を押し倒します。その位置で液晶画面は上向きになります。



液晶画面を元の位置に戻すには

液晶画面を垂直の位置まで開き、ゆっくりと反時計回りに回転させます。

- 液晶画面を 180 度以上回転させないでください。また反対方向へ回転させないでください。液晶画面が破損します。
- ご使用後は、液晶画面を元の位置に戻してください。突然の衝撃などによって液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を閉じている状態や倒した状態で、回転させないでください。本体が傷つく場合があります。

付属品を確認する

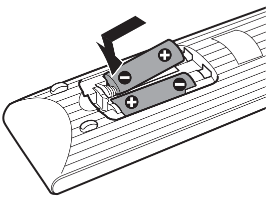
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- バッテリーパック（NP-FX110）（1）
- AC アダプター（1）
- カーアダプター（1）
- 映像 / 音声ケーブル（ミニプラグ× 2 →ピンプラグ× 3）（1）
- リモコン（1）
- 単 3 形（R6）乾電池（2）
- 保証書（1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンを準備する

リモコンに単 3 形（R6）乾電池（付属）を 2 個入れます。乾電池の ⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に必ず合わせてください。



充電する

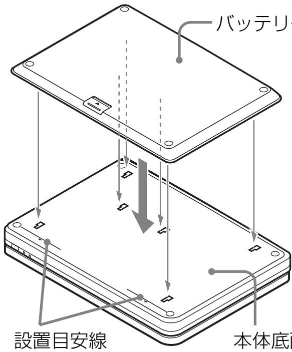
本機をはじめて使用するときや、バッテリーが消耗したときには、充電してください。

1 本機の電源を切る。

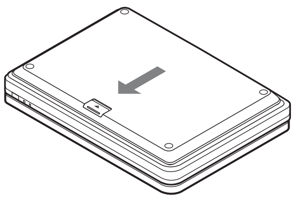
電源が入っているときはバッテリーは充電されません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。

2 バッテリーパックを本体に取り付ける。

本体底面の線にバッテリーパックの端を合わせます。本体底面の穴にバッテリーパックのツメを入れます。



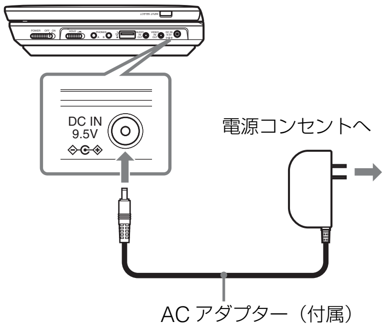
バッテリーパックを矢印の方向にカチッと音がするまでずらします。



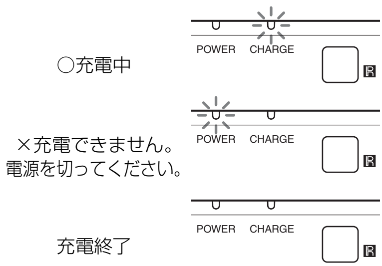
➡ 次のページへつづく

3 AC アダプターを本機につなぐ。

本機の電源が切れていることを確認してください。
充電が開始されると、CHARGE（充電）ランプがオレンジ色に点灯します。



充電が終了すると、CHARGE（充電）ランプが消灯します。
AC アダプターを取りはずします。



CHARGE（充電）ランプが点灯せずに POWER（電源）ランプが点灯しているときは、POWER（電源）スイッチが「ON」に設定されています。POWER（電源）スイッチを「OFF」に設定し、CHARGE（充電）ランプが点灯していることを確認してください。

充電は周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の環境で行ってください。

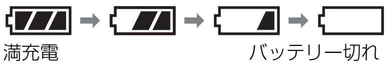
充電時間と再生時間

充電時間：約 6 時間
再生時間：約 7.5 時間
以下の条件での最長連続再生時間の目安です。
- 常温（20 ℃）
- ヘッドホン使用
- バックライトの調整を最小に設定

周囲の温度やバッテリーの状態により、充電時間が長くなったり、使用時間が短くなることがあります。

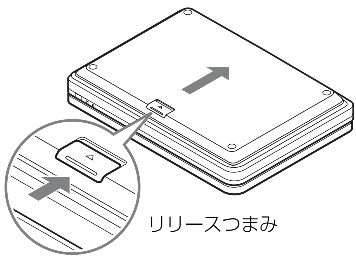
バッテリーの残量を確認するには

再生を停止すると、バッテリーマークが表示されます。
バッテリーが消耗すると、「」が表示されるか、CHARGE（充電）ランプが点滅します。POWER（電源）スイッチを「OFF」に設定し、AC アダプターをつないで充電してください。



バッテリーパックを取りはずすには

リリースつまみを矢印の方向に押して、バッテリーパックを矢印の方向にずらします。

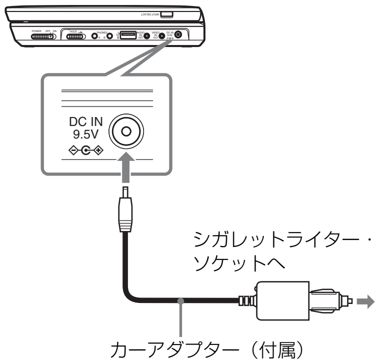


カーアダプターを使う

カーアダプター（付属）は、12V バッテリー車専用で、アースがマイナスの自動車専用です（24V バッテリー車およびアースがプラスの自動車では使えません）。

1 **エンジンをかける。**

2 **カーアダプターをつなぐ。**



3 **本機の電源を入れる。**

- 運転者は、運転中にカーアダプターをつないだり抜いたりしないでください。
- 運転者の邪魔にならないようにコードを配置してください。また運転者から見える位置に液晶画面を設置しないでください。
- シガレットライター・ソケットは清掃してから使用してください。汚れていると、接続不良や故障の原因となる場合があります。
- カーアダプターで本機を使用する場合は、自動車のエンジンをかけた状態で使用してください。自動車のエンジンを止めた状態で使用すると、自動車のバッテリーが放電してしまう場合があります。

カーアダプターを使い終わったら

1 本機の電源を切る。

2 カーアダプターを抜く。

3 エンジンを切る。

- 本機の電源を入れたまま、カーアダプターを抜いたり、エンジンを切ったりしないでください。故障の原因となる場合があります。
- 使用後はカーアダプターを抜いてください。つないだままにしておくと、自動車のバッテリーが放電してしまう場合があります。
- 自動車内に本機や付属品を置いたままにしないでください。

テレビなどにつなぐ

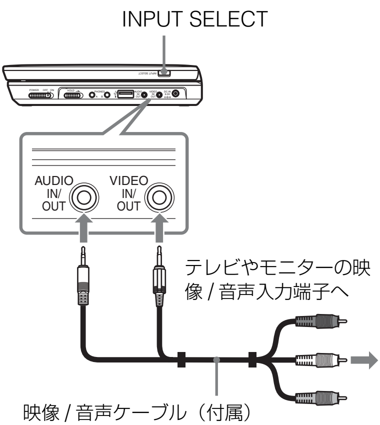
本機をテレビやその他の機器につないで、さらに映像を楽しむことができます。

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめ本機やつなぐ機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、つないでください。

テレビで映像を楽しむ

1 本機とテレビやモニターを映像 / 音声ケーブル（付属）を使ってつなぐ。

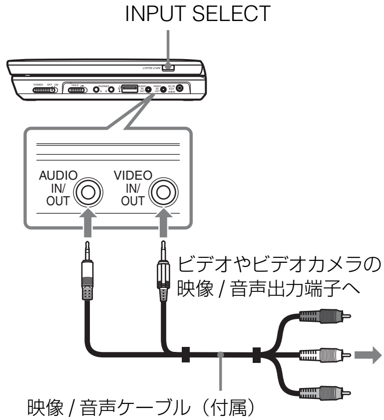


ヒント

- USBモードやLine Inモードで使用した後にディスクを再生するときは、INPUT SELECT（入力切換）ボタンをくり返し押して、ディスクモードを選んでください（8ページ）。
- 同じつなぎかたでAVアンプにつなぐこともできます。

他の機器からの映像を楽しむ

1 本機とビデオやビデオカメラを映像 / 音声ケーブル（付属）を使ってつなぐ。

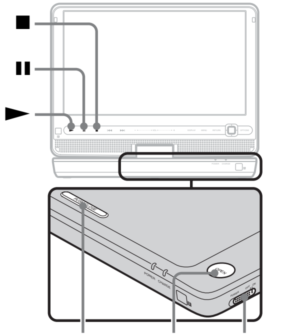


2 本機の電源を入れ、INPUT SELECT（入力切換）ボタンをくり返し押して、「Line In」を選ぶ。

ディスクを再生する

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA

ディスクによって、操作が制限されていることもあります。ディスクに付属の説明書をご覧ください。
バッテリーが充電されているか、AC アダプターをつないでいるか、どちらかの状態で再生してください。

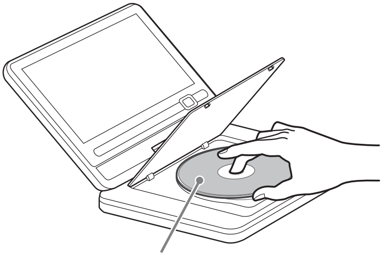


1 液晶画面を開く。

2 POWER（電源）スイッチを「ON」にする。
本機の電源が入り POWER（電源）ランプが緑色に点灯します。

3 OPEN（開く）ボタンを押してディスクぶたを開く。

4 再生するディスクをはめ込む。
再生したい面を下にして、カチッと音がするまではめ込みます。



5 ディスクぶたのPUSH CLOSEを押してディスクぶたを閉じる。

6 ►（再生）を押す。
再生が始まります。
ディスクによって、メニューが表示されます。←/↑/↓/→ で項目を選び、センターボタン（決定）を押してください。

再生を停止するには

■ を押します。

再生を一時停止するには

❚❚ を押します。

💡
USB モードや Line In モードで使用した後にディスクを再生するときは、INPUT SELECT（入力切換）ボタンをくり返し押して、ディスクモードを選んでください（8 ページ）。

ⓘ
• DVD レコーダーで記録されたディスクを再生するには、**ファイナライズ作業が適切に行われている必要があります。**ファイナライズ作業について詳しくは、DVD レコーダーに付属の取扱説明書をお読みください。

→ 次のページへつづく

- ディスクぶたを開けたときに、ディスクがまだ回転しているときは、ディスクに触れないでください。ディスクの回転が停止してから、ディスクを取り出してください。

スクリーンセーバーについてのご注意

- 一時停止中、または停止中、15 分以上本機を操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。► を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- スクリーンセーバー起動後、さらに 15 分たつと待機状態になります（オートパワーセーブ機能）。► を押すと待機状態は終わります。

再生を止めたところから再生するには（つづき再生）

DVDVideo DVDVR VCD CD

再生を止めたあと再び ► を押すと、■ を押したところから再生を始めます。

- ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、► を押します。
- 停止後、電源を切り、再び電源を入れると、自動的につづき再生します。

- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、つづき再生できません：
  - ー ディスクぶたを開いたとき。
  - ー INPUT SELECT（入力切換）ボタンを押したとき。
  - ー 本機の電源を切る前に、アダプターを抜いたり、バッテリーパックをはずしたとき。

PBC（プレイバックコントロール）機能を使うには VCD

PBC 機能のあるビデオ CD は、メニューが表示され、メニューにしたがって再生できます。リモコンの数字ボタンで項目の番号を選び、センターボタン（決定）を押します。表示される指示にしたがって操作してください。（「SELECT を押してください。」と表示されたときは、► を押してください。）

再生中の操作

こんなときは	こうする
画面サイズを変更する	OPTIONS を押して、「画面モード」を選ぶ（20 ページ）。
DVD のメニューを表示する	MENU（8 ページ）または TOP MENU（9 ページ）を押す。
DVD の再生情報を確認する	DISPLAY を押す（17 ページ）。
DVD ビデオをくり返し再生する（リピート再生）	DISPLAY を押して、「リピート」を選ぶ（17 ページ）。
DVD を早送り / 早戻しで再生する（スキャン）	本体の ←/→ をくり返し押して、速さを選ぶ（8 ページ）。
DVD（VR モード）のオリジナルとプレイリストを切り換える	TOP MENU をくり返し押す（9 ページ）。
CD/ ビデオ CD の再生情報を確認する	DISPLAY を押す（7 ページ）。
CD/ ビデオ CD* をくり返し再生する（リピート再生）	MENU をくり返し押す（8 ページ）。
CD/ ビデオ CD* の順番を入れ換えて再生する（ランダム再生）	MENU をくり返し押す（8 ページ）。
CD/ ビデオ CD を早送り / 早戻しで再生する（スキャン）	本体の ←/→ をくり返し押して、速さを選ぶ（8 ページ）。

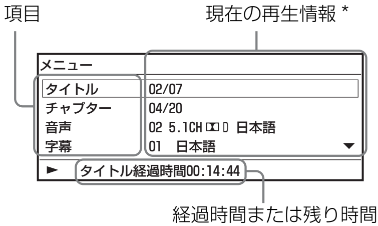
*「PBC」を「切」に設定している時のみ

再生情報画面を使う DVDVideo DVDVR

DVD 再生中に現在の再生情報を確認できます。タイトルやチャプターを選んだり、音声や字幕などを変更することもできます。
番号を入力するときは、リモコンの数字ボタンを使って操作してください。

1 再生中に DISPLAY（ディスプレイ）を押す。

再生情報画面が表示されます。
例：DVD ビデオを再生中



* DVD（VR モード）再生中は、タイトル番号の横に「プレイリスト」または「オリジナル」と表示されます。

2 ↑/↓ で項目を選び、センターボタン（決定）を押す。

- タイトル：↑/↓ または数字ボタンでタイトル番号を選びます。
- チャプター：↑/↓ または数字ボタンでチャプター番号を選びます。
- 音声：↑/↓ で音声を選びます。
- 字幕：↑/↓ で字幕を選びます。
- アングル：↑/↓ でアングルを選びます。
- タイトル時間：再生中のタイトルの時間が表示されます。センターボタン（決定）を押すと「00:00:00」が表示されますので、数字ボタンで再生したい場面のタイムコードを入力してください。
- チャプター時間：再生中のチャプターの時間が表示されます。センターボタン（決定）を押すと「00:00:00」が表示されますので、数字ボタンで再生したい場面のタイムコードを入力してください。
- リピート：↑/↓ で「チャプター」、「タイトル」、「ディスク」または「切」を選びます。
- A-B リピート：↑/↓ で「設定」を選び、センターボタン（決定）を押します。さらにセンターボタン（決定）を押して A 点と B 点を選びます。
- 時間表示：「タイトル経過時間」が表示されます。↑/↓ で「タイトル経過時間」、「タイトル残時間」、「チャプター経過時間」または「チャプター残時間」を選びます。

3 センターボタン（決定）を押す。

再生情報画面を閉じるには

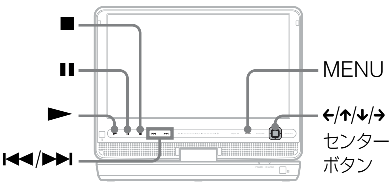
DISPLAY（ディスプレイ）または RETURN（戻る）を押します。

- ディスクによっては、設定できない項目があります。
- DVD（VR モード）のディスクでは、次の項目が設定できません：
  ー チャプター時間
  ー リピート
  ー A-B リピート

MP3/JPEG ファイルを再生する

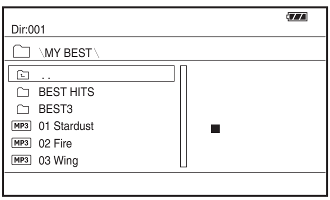
DATA

本機では、MP3/JPEG ファイルを再生できます。再生できるファイルについては、「再生できるディスク一覧」（28 ページ）をご覧ください。
データファイルを読み込むとアルバムの一覧が表示されます。KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）の場合、ディスクを入れると自動的に再生を始めます。



1 ↑/↓ でアルバムを選び、センターボタン（決定）を押す。

アルバム内のファイルの一覧が表示されます。
例：MP3 ファイルの一覧



- 前後のページを表示するには、◄◄ または ►►I を押します。
- アルバムの一覧に戻るには、↑/↓ で 📁 を選びセンターボタン（決定）を押します。

2 ↑/↓ でファイルを選び、センターボタン（決定）または ► を押す。

選んだファイルから再生が始まります。

次または前のファイルを再生するには

►►I または I◄◄ を押します。

再生を停止するには

■ を押します。

ファイルによって、再生が始まるまで時間がかかったり、再生ができないこともあります。再生できるファイルについては、「再生できるディスク一覧」（28 ページ）をご覧ください。

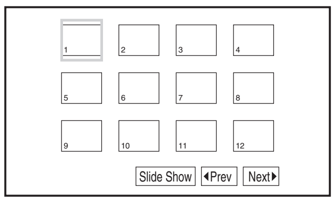
JPEG ファイルを再生する

画像を回転させるには

画像を表示中に、←/↑/↓/→ を押します。
→：時計回りに 90 度回転
←：反時計回りに 90 度回転
↑：上下に反転
↓：左右に反転

サムネイルの一覧を表示するには

MENU（メニュー）を押します。
アルバム内の画像ファイルが、12 個の小画面（サムネイル）で表示されます。



- サムネイルの一覧表示で、前後のページを表示するには、画面下の「◄Prev」または「Next►」を選び、センターボタン（決定）を押します。

- サムネイルの一覧表示を終了するには、MENU（メニュー）を押します。

スライドショーを楽しむ

1 **MENU（メニュー）を押す。**
サムネイルの一覧が表示されます。

2 **←/↑/↓/→ で画面下の「Slide Show」を選び、センターボタン（決定）を押す。**
スライドショーが始まります。

スライドショーを停止するには

■ を押すと、ファイルの一覧に戻ります。MENU（メニュー）を押すと、サムネイルの一覧に戻ります。

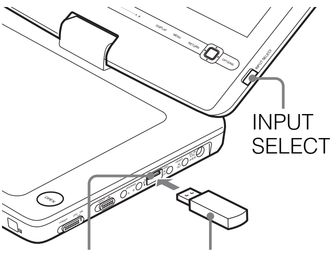
スライドショーを一時停止するには

❚❚ を押します。

USB 機器に保存されているデータを再生するには

1 **INPUT SELECT（入力切換）ボタンをくり返し押して、「USB」を選ぶ。**

2 **USB 機器を USB 端子につなぐ。**



USB 機器を取りはずすには

1 INPUT SELECT（入力切換）ボタンをくり返し押して、USB モード以外を選ぶ。

2 USB 機器を取りはずす。

対応しているソニー製 USB 機器

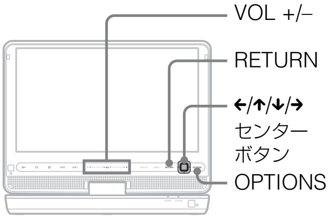
次のソニー製メモリースティック USB リーダーライターおよび USB メモリー「ポケットビット」に対応しています：MSAC-US40、USM-J シリーズ、USM-JX シリーズ、USM-J/B シリーズ、USM-L シリーズ、USM-LX シリーズ、USM-LX(A) シリーズ。

- USB 機器のアクセスランプが点滅しているときは、USB 機器を抜かないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 本機で再生できる USB 機器は、フラッシュメモリーとマルチカードリーダーです。それ以外の機器（デジタルスチルカメラや USB ハブなど）からは再生できません。

再生する

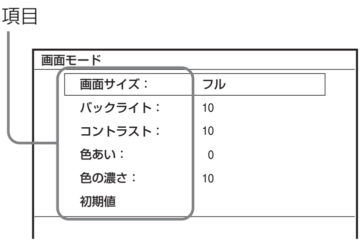
画面サイズや画質を調整する（画面モード）

DVDVideo DVDVR VCD DATA



1 **OPTIONS（オプション）を押す。**
オプションメニューが表示されます。

2 **↑/↓ で「画面モード」を選び、センターボタン（決定）を押す。**
設定項目が表示されます。



3 **↑/↓ で項目を選び、センターボタン（決定）を押す。**
- 画面サイズ：画面のサイズを変更します。↑/↓ で「ノーマル」「フル」または「ズーム」を選びます *1。
- バックライト：←/→ または VOL +/– *2 で画面の明るさを調整します。
- コントラスト：←/→ または VOL +/– *2 で画面の明暗を調整します。
- 色あい：←/→ または VOL +/–*2 で画面の赤と緑のバランスを調整します。
- 色の濃さ：←/→ または VOL +/–*2 で画面の色の濃さを調整します。
- 初期値：各設定値を工場出荷時の値に戻します。

4 **センターボタン（決定）を押す。**

*1「ノーマル」は 4:3 で記録された画像をそのままの縦横比で表示します。（左右に帯がつきます。）4:3 画面サイズにレターボックスで記録された画像は、上下左右に帯がつきます。
「フル」は本機の液晶画面いっぱいに表示します。16:9 画面サイズで記録された画像は、そのまま表示します。（16:9 画面サイズに帯つきで記録された画像の帯を消すことはできません。）4:3 画面サイズで記録された画像は、横長に引きのばして表示します。
「ズーム」は 4：3 画面サイズで記録された画像を横いっぱいに表示します。上下の画像が少し切れます。

*2本体の VOL+/– のみで操作できます。＋または－に触れるだけで操作したり、こするように指を動かして操作することもできます（7 ページ）。

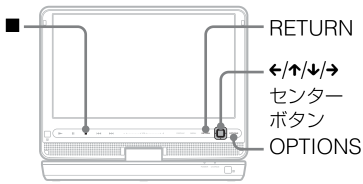
メニュー画面を閉じるには

OPTIONS（オプション）または RETURN（戻る）を押します。

ディスクによって選択できる画面サイズは異なります。

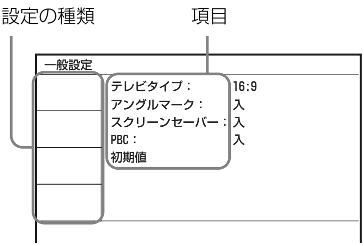
本機の設定を変更する

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。
あらかじめ再生条件が設定されているディスクでは、ディスクの情報が有効になります。



1 停止中に OPTIONS（オプション）を押す。
オプションメニューが表示されます。
つづき再生停止時は設定画面が使用できません。■ を 2 回押してつづき再生を解除してから OPTIONS（オプション）を押してください。

2 ↑/↓ で「設定」を選び、センターボタン（決定）を押す。
「設定」画面が表示されます。



3 ↑/↓ で設定したい種類を選び、センターボタン（決定）を押す。

: 一般設定（21 ページ）
本体に関連する設定をします。

: オーディオ設定（22 ページ）
再生の条件に合わせて音を設定します。

: 言語設定（22 ページ）
画面や音声の言語を設定します。

: 視聴制限（23 ページ）
視聴制限を設定します。

4 ↑/↓ とセンターボタン（決定）を押して、次の各項目を選択し調整する。

設定画面を終了するには

OPTIONS（オプション）または RETURN（戻る）を押します。

一般設定

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

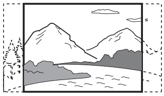
◆テレビタイプ（DVD のみ）

接続するテレビの画面の種類を設定します。

4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
<u>16:9</u>	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。

→ 次のページへつづく

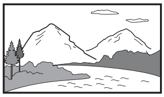
4:3 パンスキャン



4:3 レターボックス



16:9



ディスクによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

◆アングルマーク（DVD ビデオのみ）

複数のアングルが記録された DVD を再生するとき、画面にアングルマークを表示するように設定します。

入	アングルマークを表示する。
切	アングルマークを表示しない。

◆スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで 15 分経つと、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。

入	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

スクリーンセーバーを「切」に設定するとオートパワーセーブ機能も作動しません。

◆ PBC（プレイバックコントロール）（ビデオ CD のみ）

PBC 機能のあるビデオ CD で、対話型の再生や検索を楽しむときに設定します。

入	PBC 機能により、メニューからビデオ CD を再生できる。
切	PBC 機能を使わない。

◆初期値

この設定を実行すると、各設定値が工場出荷時の初期値に戻ります。すべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

オーディオ設定

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆オーディオ DRC（ダイナミックレンジコントロール）（DVD のみ）

オーディオ DRC 対応の DVD で、音量を下げて聞くときに設定します。

スタンダード	通常の音声にする。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする。
ワイドレンジ	ライブ音声のような迫力のある音にする。

言語設定

◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆ディスクメニュー（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

◆字幕（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
「切」を選ぶと、字幕を表示しません。

◆音声（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

「ディスクメニュー」、「字幕」、「音声」で選んだ言語が DVD ビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

視聴制限

視聴制限機能がある DVD の視聴制限レベルを設定します。
リモコンの数字ボタンを使って設定してください。

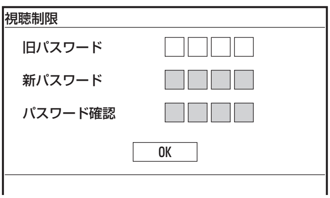
◆暗証番号（DVD ビデオのみ）

暗証番号の入力や変更を行います。この番号が視聴制限を設定するための暗証番号となります。リモコンの数字ボタンを使って、4 桁の暗証番号を入力してください。

暗証番号を変更する

1 視聴制限画面から ↑/↓ で「暗証番号」を選び、センターボタン（決定）を押す。

2 「変更」が選ばれているのを確認して、センターボタン（決定）を押す。
暗証番号入力の画面が表示されます。



3 現在の暗証番号を「旧パスワード」に入力し、新しい暗証番号を「新パスワード」と「パスワード確認」に入力して、センターボタン（決定）を押す。

暗証番号を間違えたときは

手順 3 でセンターボタン（決定）を押す前に暗証番号を入力しなおすときは、CLEAR（クリア）ボタンを押すか、← でひとつずつ戻り入力しなおします。

登録した暗証番号を忘れたときは

「旧パスワード」には 4 桁の数字「1369」を入力し、「新パスワード」と「パスワード確認」に新しい 4 桁の暗証番号を入力します。

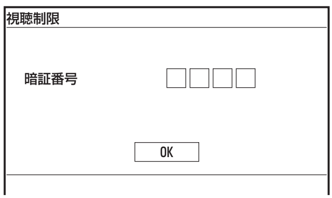
◆視聴制限（DVD ビデオのみ）

視聴制限レベルを設定します。設定するレベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。この設定をするためには、先に暗証番号を設定してください。

視聴制限を設定する

1 視聴制限画面から ↑/↓ で「視聴制限」を選び、センターボタン（決定）を押す。

2 ↑/↓ で制限するレベルを選び、センターボタン（決定）を押す。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。
暗証番号入力の画面が表示されます。



3 リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力し、センターボタン（決定）を押す。

➡ 次のページへつづく

視聴制限機能がある DVD を再生するには

ディスクを入れて ► を押すと、視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力し、センターボタン（決定）を押してください。

Ø

- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ AC アダプターがしっかり差し込まれているか確認してください（11 ページ）。
➡ バッテリーパックがしっかり取り付けられているか確認してください（11 ページ）。
➡ バッテリーが充電されているか確認してください（11 ページ）。

バッテリーが充電されない。

➡ 電源が入っているときはバッテリーは充電されません。電源を「OFF」にしてください（12 ページ）。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ ディスクに汚れや傷がないか確認してください（32 ページ）。
➡ 画面の明るさが最小に設定されていませんか。「画面モード」の「バックライト」を調整してください（20 ページ）。
➡「USB」または「Line In」が表示されている場合は、INPUT SELECT ボタンをくり返し押してディスクモードにしてください（8 ページ）。

液晶画面に黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えない。

➡ 液晶画面の性質上発生するものであり、故障ではありません。

音声

音が出ない。

➡ 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。
➡ 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合があります。「オーディオDRC」を「テレビ」に設定（22 ページ）すると、改善されることがあります。

操作

操作ボタンを押しても、応答がない。

➡ 本体の HOLD スイッチが矢印の方向に設定されていないか確認してください（8 ページ）。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っていると、「ディスクなし」または「このディスクは再生できません」と画面に表示されます。ラベル面（または再生しない面）を上にしてください（15 ページ）。
➡ ディスクを正しくはめ込んでください（15 ページ）。
➡ 再生できないディスクを入れていないか確認してください（28 ページ）。
➡ 正しくファイナライズされていない録画用ディスクを入れていないか確認してください（28 ページ）。
➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れていないか確認してください（29 ページ）。

➡ 次のページへつづく

➡ 「USB」または「Line In」が表示されている場合は、INPUT SELECT ボタンをくり返し押してディスクモードにしてください（8 ページ）。
➡ 視聴制限が設定されていませんか。設定を変更してください（23 ページ）。
➡ 結露していないか確認してください（30 ページ）。

再生が自動的に始まったり、止まったりする。

➡ ディスクによっては自動的に再生が始まります。
➡ ディスクによってはオートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ リピート再生やランダム再生が設定されていないか確認してください（16 ページ）。
➡ つづき再生になっていないか確認してください（16 ページ）。
➡ プレイリストを作成したディスクでは自動的にプレイリストが再生されます。「オリジナル」のタイトルを再生したいときは、TOP MENU ボタンを押して「オリジナル」に設定してください（9 ページ）。

再生までに時間がかかる。

➡ DVD（VR モード）のディスクは、再生開始までに時間がかかります。

再生中に静止する。

➡ DVD+R DL/DVD-R DL ディスクを再生しているときは、層の切り換わり時に再生が静止することがあります。

字幕が消える。

➡ 再生中に再生スピードを変えたり、シーンを飛ばしたりすると、一時的に字幕が消えます。

ボタンを押したとおりの操作ができず、「⊘」が表示される。

➡ ディスクによって操作を禁止しているものがあります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

メニュー画面で ←/→ の操作ができない。

➡ ディスクによって本体の ←/→ で操作できない場合があります。リモコンの ←/→ を使って操作してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電池が消耗していないか確認してください。
➡ リモコンと本体との間に障害物がないか確認してください。
➡ リモコンと本体との距離が離れすぎていないか確認してください。
➡ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たっていないか確認してください。
➡ AUDIO/SUBTITLE/ANGLEボタンが操作できないときは、DVD メニューから選択して操作してください。

MP3/JPEG ファイルを再生できない (29 ページ)。

➡ ファイルのフォーマットや拡張子が準拠しているか確認してください。
➡ ファイルが壊れていないか確認してください。
➡ 画サイズが大きすぎないか確認してください。

アルバム名やファイル名が正しく表示されない。

➡ 本機は数字とアルファベットしか表示できません。その他の文字は「＊」で表示されます（29 ページ）。

本機が正常に動作しない、電源が切れない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を「OFF」にしてアダプターを抜き、バッテリーパックをはずしてください。

接続

接続した機器で本機の映像や音声が出ない。

➡ 接続ケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください（14 ページ）。
➡ 接続ケーブルが断線していないか確認してください。
➡ 接続したテレビの設定を確認してください。
➡「USB」または「Line In」が表示されている場合は、INPUT SELECT ボタンをくり返し押してディスクモードにしてください（8 ページ）。

接続した機器からの映像や音声が出ない。

➡ INPUT SELECT ボタンをくり返し押して「Line In」にしてください（14 ページ）。

USB

USB 機器を認識しない。

➡ USB機器がしっかり接続されているか確認してください（19 ページ）。
➡ 本機での再生に対応しているUSB機器か確認してください（19 ページ）。
➡ INPUT SELECT ボタンをくり返し押して「USB」にしてください（19 ページ）。

再生できるディスク一覧

種類	ロゴ	アイコン	特性
DVD	DVD VIDEO DVD RW DVD R R4.7 RW DVD+ReWritable RW DVD+R RW DVD+R DL	DVDVideo	• 市販の DVD • DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（+VR モード） • DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（ビデオモード）
		DVDVR	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（VR モード）
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD	• 音楽用 CD • 音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RW
	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VCD	• ビデオ CD（スーパー VCD 含む） • ビデオ CD（スーパー VCD 含む）フォーマットの CD-R/CD-RW
データ CD/DVD、USB	—	DATA	MP3 や JPEG ファイルが入ったデータ CD/ データ DVD または USB 機器

- **ディスクの再生について**
  記録済みのディスクには、傷や汚れ、また記録状態やレコーダー、書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。**すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。**
  詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。DVD+RW/DVD+R によっては、適切にファイナライズ作業がされていても本機のいくつかの再生機能が使えないことがあります。その場合には、ノーマル再生でご覧ください。

- **カラー方式について**
  本機は NTSC カラーテレビ方式対応のため、NTSC 以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスクは再生できません。

MP3 と JPEG についてのご注意

本機では次のようなファイルを再生することができます。

- 拡張子が「.mp3」*1 の MP3 ファイル。
- 拡張子が「.jpg」*2 の JPEG ファイル。
- DCF（カメラファイルシステムのデザイン規定）画像ファイル形式に準拠した JPEG ファイル。
- ISO9660のレベル1/Joliet準拠のデータCD。
- UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠のデータ DVD。

*1 mp3PRO で記録されたファイルは再生できません。
*2 ファイルの拡張子が「.jpe」または「.jpeg」の場合は、「.jpg」に名前を変更してください。

- 多くの階層やアルバムを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。以下のようにすることをおすすめします。
  - ー ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにする。
  - ー ディスク内のアルバム数は 50 以下にする。
  - ー ひとつのアルバム内のファイル数は 100 以下にする。
  - ー ひとつのディスク内のアルバムとファイルの合計数は 600 以下にする。
- ディスクに記録された順番に再生します。

- MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.mp3」または「.jpg」の拡張子をつけないでください。本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- パケットライト形式で作成されたデータ CD/ データ DVD は再生できません。
- マルチセッション形式で作成されたデータ CD/ データ DVD は再生できないことがあります。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。
- ノーマルモードで 3078（幅）× 2048（高さ）以上の JPEG ファイル、またはプログレッシブモードで 2000（幅）× 1200（高さ）以上の JPEG ファイルは再生できません。（プログレッシブ JPEG ファイルは規定内のサイズでも再生できない場合があります。）
- 本機で表示できるファイル名 / アルバム名は最長で 14 文字です。表示できない文字は「＊」で表示されます。
- 本機で表示できるアルバム名は選択中のアルバム名のみです。それより上の階層のアルバム名は「\..\」と省略されます。
- ファイルによっては再生情報が正しく表示されない場合があります。

市販のディスクについてのご注意

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。市販の DVD のパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本製品で再生可能です。



DVD、ビデオ CD の再生操作について

DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

→ 次のページへつづく

音楽ディスクの再生について

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。
DualDisc および著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクは CD 規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。

著作権について

- 本製品は、Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

商標について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "DVD+RW"、"DVD-RW"、"DVD+R"、"DVD+R DL"、"DVD-R"、"DVD ビデオ "、"CD" のロゴは商標です。

使用上のご注意

AC アダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常なにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
通常、本体の電源スイッチで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  - 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 本棚のような狭い所。
  - 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
  - ホコリの多い所。
  - ぐらついた台の上や傾いた所。
  - 振動の多い所。
  - 風呂場など、湿気の多い所。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、本機の液晶画面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、液晶画面をティッシュペーパー等でよく拭き、結露がなくなるまで、そのまま約 30 分（本機が室温に温まるまで）放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

残像現象（画像の焼きつき）について

本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面やテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

液晶画面について

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶画面に物を載せたり、落としたりしないでください。また手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶画面の表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

バッテリーパックについて

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間の経過によってバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が通常の半分くらいになったときは、新しいものをご購入ください。
- 初めて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 高温になった車の中や炎天下など、60 ℃以上になる場所に放置しないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 本体底面のバッテリー接続端子をネックレスなどの金属類でショートさせないでください。
- 本体底面のバッテリー接続端子や本体底面のバッテリー用ガイド穴に、ゴミや砂などの異物が入らないようにしてください。

AC アダプターやカーアダプターについて

- 付属以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
- アダプターを分解または改造しないでください。
- アダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物で触れるとショートしてアダプターが損傷することがあります。

本機を海外へお持ちになるときは

付属の AC アダプターは 100 ～ 240V の電源電圧に対応しています。コンセントの形にあった AC プラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます。
なお、電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本体のお手入れについて

- キャビネットの汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- 液晶画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。濡れたもので液晶画面を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 画像が乱れたり、音飛びがするときは、レンズにゴミやほこりがたまっている場合があります。このときは、市販のカメラレンズ用のブロワーブラシで、レンズのクリーニングをしてください。クリーニングをするときは、レンズに直接触れないようご注意ください。

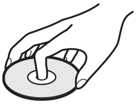
➡ 次のページへつづく

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱いについて

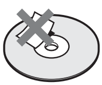
• 再生面に手を触れないように持ちます。



• 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所、直射日光が当たって高温になった車内には置かないでください。
• ケースに入れて保存してください。
• 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



• ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
• ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。
• 次のようなディスクは使用できません。
  ー 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  ー 紙やシールの貼られたディスク
  ー セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク



主な仕様

システム

形式: CD/DVD プレーヤー
信号方式: JEITA 標準、NTSC カラー方式

入出力端子

VIDEO IN/OUT(映像入出力):
ミニジャック
AUDIO IN/OUT(音声入出力):
ステレオミニジャック
PHONES(ヘッドホン出力)A/B:
ステレオミニジャック
USB 端子: Hi-Speed USB(USB2.0 準拠)
(メモリースティック USB リーダーライターおよび USB メモリー「ポケットビット」接続用)

液晶画面

パネルサイズ: 9 インチ(対角)
駆動方式: TFT アクティブ・マトリックス
解像度: 800 x 480

電源、その他

電源: DC9.5V(AC アダプター / カーアダプター)
DC7.4V(バッテリーパック)
消費電力(DVD ビデオ再生時):
約 6.5W(ヘッドホン使用時)
最大外形寸法:
227 x 34.4 x 170.8 mm(幅 / 高さ / 奥行き)(最大突起部分を含む)
質量: 約 880g(バッテリーパック含まず)
許容動作温度: 5 ~ 35 ℃
許容動作湿度: 25 ~ 80 %
AC アダプター: AC100-240V、50/60Hz
カーアダプター: DC12V

付属品

11 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

◆それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DVP-FX950
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
- つないでいるテレビなどのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。

◆部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アングル　10,　22
暗証番号　23
一般設定　21
オーディオ設定　22
オーディオ DRC　22
オートパワーセーブ　16,　22
音声　10,　23

カ行

海外での使用について　31
画面サイズ変更　20
画面表示言語　22
画面モード　20
言語設定　22
故障かな？と思ったら　25

サ行

再生　15
再生情報画面　17
視聴制限　23
字幕　10,　23
充電時間と再生時間　12
スクリーンセーバー　16,　22
スライドショー　19
設定画面　21

タ行

地域番号　29
つづき再生　16
ディスクメニュー　22
データ　18,　28
テレビタイプ　21

ラ行

ランダム再生　16
リピート再生　16

アルファベット / 数字順

CD　15,　28
DVD　15,　28
JPEG　18,　29
MP3　18,　29
PBC　16,　22
USB　19
16:9　21
4:3 パンスキャン　21
4:3 レターボックス　21

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://www.sony.co.jp/dvd-regi/

携帯電話から
http://reg.msc.m.sony.jp/dvd/

2 次元コードでアクセス

2 次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル････････････････0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･･ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル････････････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･･ 0466-31-2531

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「102」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-169-963-**03**(1)
I-4169963039

Printed in China